



もり

Vol.121
2024/WINTER

加賀正

井川森林組合 広報誌

特集

次世代の担い手育成について

井川森林組合では、次世代の林業の担い手を育成中・募集中です。令和6年はHP開設やインターンシップ導入の効果もあり、事業課2名の新しい仲間が加わりました。彼らは今後どのように森林整備の技術と経験を習得していくのかを紹介します。

「緑の雇用」制度を利用して、じっくりと、、

林業界の昔話ですが、ひと昔前は、現場でいきなりチェーンソーを渡されて、「よし、木を伐ってこい！」に近いこともあったとかなかったとか、、、。これはこれで経験を最も早く積むことができる気もしますが、熟達の域に達する前に別の道を歩む人も多かったことと想像します。

現在の林業界では「緑の雇用」制度という教育・研修体制が整備されています。これは所属事業体で働きつつ、先輩から指導を受けるOJT(実地)研修と、資格取得や体系的な伐倒技術を学ぶ集合研修の2本立ての制度になっています。この制度により、林業という危険を伴う仕事において、比較的安全を確保しながら、技術・経験を習得することができるようになりました。井川森林組合もこの制度をベースにして、新人教育を行っています。



経験豊富な熟練者のみの世界から



経験を理論・体系化して習う世界へ

『補足』 緑の雇用でのキャリアアップについて

現場の技術習得を目的としたフォレストワーカー(3年間)を修了した後は、現場をまとめるフォレストリーダー・複数の現場をまとめて企画・販売等に携わるフォレストマネジャーの育成を目的とした研修に参加することで、必要・適正に応じたステップアップをすることができます。



「緑の雇用」の情報は
こちらから➡



「緑の雇用」HP

こんな風に学びます

・OJT研修(実地研修)

現場で直接先輩から林業技術を教わります。研修内容はその時に稼働している現場に左右されますが、井川森林組合では、植栽から下刈り、間伐、搬出まで比較的広い分野を経験することができます。

みんな初めは初心者。道具の整備や扱い方に始まり、山の歩き方、伐倒技術へとステップアップします。伐倒時も横に指導役が付き添うことで、研修生が分からない危険を指摘できるため、従来の「見て盗む」より安全に経験を積むことができます。



教わる方も教える方も、ハラハラのOJT研修

・集合研修

静岡県内の緑の雇用参加者が集まり、県内トップクラスの林業従事者から直接林業技術を習います。事業体毎に作業内容は千差万別な林業業界において、体系化された基礎の習得、所属事業体では行わない作業の体験などができる貴重な場所です。

また林業に必要な各種資格の取得もこの集合研修で行うことができます。



技術・情報交換の場にもなる集合研修

～新入職員紹介～



ひろき
遠藤 弘基
平成5年12月4日生
富士市出身
薬沢在住
趣味:筋トレ・キャンプ
家のDIY

キャンプ好きが高じて自然が豊かな井川へ。
現在、家の隙間風を塞ぐべく奮闘中。



しゅうま
松山 周羽馬
平成13年8月16日生
静岡市出身
小河内在住(仮住宅)
趣味:土いじり

元農業人。焼畑を通じて、井川へ移住。
野菜作りは好きだけど、野菜を食べるのは苦手。

REPORT

森づくりの現場から

森林整備 間伐作業中

寒さが身に染み始める秋を迎えると同時に、伐採作業のシーズンを迎えます。今年は森林の手入れとして約40ha(1ha=10,000㎡)で保育間伐を実施しています。



間伐で不良木を間引くことにより、残された木々の成長を手助けすると共に、過密による枯死や病気による材質低下を予防することが出来ます。

令和7～8年度の間伐候補地を募集しています。各種助成を利用するため、所有者負担なく森林整備が行えます。※一部採択要件あり。
【担当】事業課 宮崎 亮紀(カツキ)

『お知らせ』流木処理業務 作業中

井川森林組合の業務の中に、「流木処理」という仕事があります。これは中部電力からの委託業務で、井川のダムに浮遊している流木がダムの機能を妨げないように事前に除去する仕事となります。

流木のダム湖に浮遊しているものは、クレーンで釣り上げて。陸地に打ちあがっているものは手拾いで回収して破碎。その後、農地などの土壌保護や改良のためのチップ材として利用されています。作業中は車両の往来などでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご容赦のほどお願い致します。



ダムを守り、地域の安全を守るお手伝いをしています

夏はほうき、冬はつるはし

冬季休園中の県民の森。夏場に施設管理を担っているスタッフも、冬の間は森林整備や流木の現場で活躍しています。

さすがに間伐などの危険度の高い作業はではありませんが、作業歩道管理や獣害防止資材設置等の「森林整備に必要。だけど、手間がかかる作業。」を中心に担ってくれています。少ない伐倒技術者でも井川の森林を整備できるようにと今日も山中で奮闘中です。



井川は現場まで歩くで有名。そのため「歩道」はありがたい

産業フェア2024 に出展しました



11月23日・24日に静岡市ツインメッセで開催された「産業フェア2024」に出展しました。役物の一枚板やヒノキのまな板(50枚が完売!)、井川の方が作成したアクセサリなどを販売し、多くの方に井川の魅力をお届けすることが出来ました。

今後も地域の森林組合として、井川の魅力を発信する活動を続けていきます。

インターンシップについて

令和6年から導入したインターン(体験就業)。昨年は3名の問い合わせがあり、冬季の為受入できなかった1名を除いた、2名の受入を実施、両名とも就業へと繋がりました。

井川森組のインターンは作業体験だけでなく、地域見学を含めており、移住後の生活をイメージしやすいのが特徴です。



組合HP
林業インターン紹介ページへ

井川に子供がふえました

井川に移住して3年目の職員に子供が誕生しました。

真冬の井川でも寒さに負けることなく元気にすくすくと成長中！



令和七年を迎えて

日頃より、組合業務にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

令和六年は、記録的な円安と物価上昇、金利上昇に伴う住宅着工件数の減少等、組合・地域の方・働く従業員の全てに向かい風の1年だったと思います。残念なことに令和七年もこの傾向は続く予想され、引き続き影響を及ぼすことになるでしょう。

そのような中ではありますが、森林組合として地域の森林資源の利用・循環、組合員への還元を目指して、新規採用・育成を実施しており、徐々に芽が出てきました。お天気ばかりとはいきませんが、出来ることに一つずつ取り組み、この芽を育てていく所存です。本年も井川森林組合をよろしく願っています。

代表理事 組合長
森竹 史郎

空き家
募集中



井川森林組合は、「次世代の担い手」が井川で生活するための借上げ住宅の整備を行います。

空き家でお困りの組合員様、地域の方は組合への貸し出しのご検討をお願い致します。

- ・組合職員が状況確認を行い、修繕を実施します。
 - ・汲み取り・水洗に関わらずご連絡ください
- ※汲み取り式トイレでも、職員の移住実績あり

【担当】 総務課 佐野 054-260-2204

お知らせ

購買券の有効期限は1月31日

購買券の有効期限が迫っています。使い忘れのないようご注意ください。

また種ゴマの支払いで購買券を利用される方は、1月31日までにご注文をお願いします。

お願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は、森林組合へご一報ください

発行元

井川森林組合

〒428-0504

静岡県静岡市葵区井川544番地の7

TEL 054-260-2204

FAX 054-260-2678

メール ikawa-fa@khaki.plala.or.jp



井川森林組合HP